

スコアシート		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q-1 室内環境</b>			0.40			2.9
<b>1 音環境</b>		2.6	1.00	2.8	1.00	3.2
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.29	
1 階層音レベル		3.0	1.00	3.0	1.00	
1.2 遮音		3.0	0.40	3.2	0.50	
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能		-	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	L-50等級使用	-	-	4.0	0.20	
1.3 吸音		1.0	0.20	2.0	0.21	
<b>2 温熱環境</b>		2.8	0.35	2.8	1.00	2.8
2.1 室温制御		3.0	0.60	3.0	0.60	
1 室温設定		3.0	0.60	3.0	0.60	
2 温度変動の抑制		-	-	-	-	
3 外皮性能		3.0	0.40	3.0	0.40	
4 ゾーン別制御性		-	-	-	-	
5 湿度・空気清浄		-	-	-	-	
6 自然換気		-	-	-	-	
7 自然採光		-	-	-	-	
2.2 湿度制御		2.0	0.20	2.0	0.20	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30	
<b>3 光・視環境</b>		2.6	0.25	3.3	1.00	3.1
3.1 昼光利用	住居の昼光率が、2.0%以上を示す	1.8	0.30	4.0	0.30	
1 昼光率		1.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策		3.0	0.30	3.0	0.30	
1 開口部遮光対策		-	-	-	-	
2 昼光制御		3.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15	
1 照度		3.0	1.00	3.0	1.00	
2 照度調整		-	-	-	-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25	
<b>4 空気質環境</b>		4.2	0.25	4.2	1.00	4.2
4.1 発生源対策	内装材、塗材はF☆☆☆☆の等級付けのものを使用	5.0	0.60	5.0	0.63	
1 化学汚染物質		5.0	1.00	5.0	1.00	
2 臭気		-	-	-	-	
3 ばいじん		-	-	-	-	
4 放射性物質		-	-	-	-	
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38	
1 換気量		3.0	0.60	3.0	0.33	
2 自然換気性能		-	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4 給気経路		-	-	-	-	
4.3 運用管理		-	-	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-	-	-	
2 喫煙の制御		-	-	-	-	
<b>Q-2 サービス性能</b>			0.30			2.9
<b>1 機能性</b>		4.2	0.40	2.4	1.00	2.8
1.1 機能性・使いやすさ		5.0	0.60	2.0	0.60	
1 広さ・収納性		-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応		-	-	2.0	1.00	
3 バリアフリー計画	ハートビル法の利用円滑化誘導基準(望ましいレベル)を満たして	5.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		3.0	0.40	3.0	0.40	
1 広さ感・景観		-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-	
3 内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50	
<b>2 耐用性・信頼性</b>		3.1	0.31	-	-	3.1
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数	磁気質タイル貼使用 ビニールクロス使用	3.7	0.33	-	-	
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔		5.0	0.29	-	-	
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		4.0	0.12	-	-	
3 配管・配線材の更新必要間隔		3.0	0.29	-	-	
4 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.29	-	-	
2.3 劣化対策		-	-	-	-	
1 養生・保護・耐摩耗仕上げ材の選択		-	-	-	-	
2 劣化・損傷防止対策		-	-	-	-	
3 劣化・損傷防止対策		-	-	-	-	
4 劣化・損傷防止対策		-	-	-	-	
2.4 信頼性		2.6	0.19	-	-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3 電気設備		1.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性		2.8	0.29	2.7	1.00	2.7
3.1 空間のゆとり				2.4	0.50	
1 階高のゆとり				2.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ				3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.50	
3.3 設備の更新性		2.8	1.00			
1 空調配管の更新性		2.0	0.17			
2 給排水管の更新性		3.0	0.17			
3 電気配線の更新性		3.0	0.11			
4 通信配線の更新性		3.0	0.11			
5 設備機器の更新性		3.0	0.22			
6 バックアップスペース		3.0	0.22			
Q-3 室外環境(敷地内)			0.30			2.7
1 生物環境の保全と創出		2.0	0.30			2.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30			3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50			
3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50			
■R 建築物の環境負荷低減性						2.7
LR-1 エネルギー			0.40			3.0
1 建物の熱負荷抑制		3.0	0.40			3.0
2 自然エネルギー利用		3.0	0.20			3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50			
2.2 自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50			
3 設備システムの高効率化		3.0	0.40			3.0
4 効率的運用						
4.1 モニタリング						
4.2 運用管理体制						
LR-2 資源・マテリアル			0.30			2.8
1 水資源保護		3.0	0.15			3.0
1.1 節水		3.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60			
1 雨水利用システム		3.0	1.00			
2 雑排水利用システム						
2 低環境負荷材		2.7	0.85			2.7
2.1 資源の再利用効率		2.3	0.35			
1 躯体材料の再利用効率		3.0	0.67			
2 非構造材料の再利用効率		1.0	0.33			
2.2 持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.04			
2.3 有害物質を含まない材料		3.0	0.08			
2.4 既存建築躯体などの再利用		3.0	0.18			
2.5 部材の再利用可能性		3.0	0.18			
2.6 フロン・ハロンの回避		3.0	0.18			
1 消火剤		3.0	0.33			
2 断熱材		3.0	0.33			
3 冷媒		3.0	0.33			
LR-3 敷地外環境			0.30			2.5
1 大気汚染防止		3.0	0.10			3.0
2 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.10			3.0
2.1 騒音		3.0	0.33			
2.2 振動		3.0	0.33			
2.3 悪臭		3.0	0.33			
3 風害、日照障害の抑制		3.0	0.15			3.0
3.1 風害の抑制		3.0	0.70			
3.2 日照障害の抑制		3.0	0.30			
4 光害の抑制	外壁の反射は少ない	4.0	0.10			4.0
5 温熱環境悪化の改善		1.0	0.30			1.0
6 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25			3.0
6.1 雨水処理負荷抑制		3.0	0.25			
6.2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25			
6.3 交通負荷抑制		3.0	0.25			
6.4 廃棄物処理負荷		3.0	0.25			

■ LR-1 用途別得点表		集合住宅				面積換分
		5732	㎡			総合スコア
1	建物の熱負荷抑制	3.0				3.0
3	設備システムの					
	高効率化	4.7				4.7
3.1	空調設備					
3.2	換気設備					
3.3	照明設備	5.0				
3.4	給湯設備					
3.5	昇降機設備	3.0				